

事業者、団体、自治体等の取組

1. 「インクルーシブ社会の実現に向けて バリフリ BOX[∞]で繋げる、広がる人の輪」
徳島県肢体不自由児者父母の会連合会
2. 「だれもが安心して生活できる空間のデザイン～当事者参画を学ぶ～ in 松山」
CIL 星空
3. 「徳島県における「とくしまユニバーサルデザイン県民会議」の取組について」
徳島県多文化共生・人権課
4. 「あなぶきアリーナ香川（香川県立アリーナ）の整備について」
香川県県立アリーナ管理運営室
5. 「JR 四国のバリアフリーに関する取組について」
四国旅客鉄道株式会社お客様サービス推進室
6. 「2024（令和6）年度高松空港ユニバーサルデザイン診断ご指摘事項改善内容報告書」
高松空港株式会社空港運営事業部建物管理グループ
7. 「NPO法人福祉住環境ネットワークこうちのUD・バリアフリーに関する取組について」
NPO法人福祉住環境ネットワークこうち

2025.8.8
令和7年度四国運輸局
優良事業者等表彰事例報告

インクルーシブ社会の実現に向けて バリフリBOX[∞]で繋げる、広がる人の輪

徳島県肢体不自由児者父母の会連合会会長
バリフリBOX[∞]実行委員会委員長
圓井 美貴子

徳島県肢体不自由児者父母の会連合会の事業

バリフリBOX[∞]

要配慮者の防災

生涯管理医療連携
推進事業

ピアカウンセリング

つ
な
が
る

全国肢体不自由児者父母の会連合会
徳島県肢体不自由児協会との連携

バリフリBOXからバリフリBOX∞（無限大）へ

- ▶ **バリフリBOX**は、障がい当事者に関する情報が不足している地方において、福祉機器はもちろん、新しく有効な様々な情報提供と、多様な社会の一員として障がい者を位置づけ、インクルーシブな社会につなげることを目的に、**障がい児者のためのモノと情報と遊びの広場**として、**徳島赤十字ひのめね医療療育センター**の共催でスタート。
- ▶ 当事者と家族の団体である本会が呼びかけ、多くの関係者が連携協力することで、専門的な情報を直接得られる場としてはもちろんのこと、**当事者視点で誰もが楽しめる福祉を感じない福祉イベント**として内容を拡大し、**公共の会場で開催**することになる。
- ▶ 2022年本県最大のアスティとくしまでの開催と今後の継続を見据え、**実行委員会を設立し「バリフリBOX∞」**に。共催だった徳島赤十字ひのめね医療療育センターと協力団体、さらに連携が必要と思われた団体が実行委員となり、運営する。これまでの経緯と、**当事者がコアにいることを大事**にするため、委員長、事務局は本会に置く。



第3回バリアフリBOX[∞]は「防災」テーマに

給電車



減災・防災シンポジウム



災害備品展示



夜の避難所体験



茅ヶ崎支援学校から
飛び入り！！
防災共生ライブ♪



専門相談



インクルーシブ社会を目指すバリアフリBOXとして、 何ができるか？

令和5年度から「出前バリアフリBOX」を実施！

- 会場で待つだけでなく、地域にバリアフリBOXを届ける
「福祉」「防災」「街づくり」などに関する専門的な視点も含め、リアルな体験を届ける。
- バリアフリBOX[∞]でつながった関係者と当事者が連携して、当事者の声を一緒に届けることで、障がいに関する認識が変化し、学びの質も高まる。

やさしいまちづくり

緊急時の地域力



上八万つながる防災フィールドワーク

児童館を核にした「上八万つながる防災プロジェクト」と連携し、プロジェクトで作成した上八万地域の洪水、土砂災害のハザードマップを用いて、実際に車いす体験も含めた防災フィールドワークを行った。減災・防災の視点で、バリフリBOX[∞]実行委員会の専門科（作業療法士会）と障がい者とともに、子供や大人が自分たちの住む地域を実際に見つめ、考えることで、地域の防災力と人材育成を目指した。



上八万つながる防災 出前バリフリBOX

キミの知らない上八万を 歩いて大発見!!

2024年 11月2日(土) ※少雨決行 13:30~16:00

集合場所..... 参加できる人.....
上八万児童館 (福島市上八万町堀口61番地) 上八万で暮らす子どもたちと大人の方ならどなたでも参加できます
定員..... ※小学校低学年以下のお子さまは保護者と一緒に参加ください
50名(参加無料) 大などのバットをお借りになる場合は、申込時にお知らせください
定員に達し次第 申込者には、お土産あり

申し込み・お問い合わせ.....
088-668-6391 (上八万児童館・熊本)

持ち物.....
筆記用具、飲み物

リハビリ専門職の 作業療法士も！

いざというとき 大切な家族を 守りたい人も！

車椅子に 乗る人も！

みんな一緒に 町へ出よう！

障がいの少ない 人も！

障がいのある方たちとに交流し、ともに生きる社会を目指し、福島県視覚障害者支援センターと多くの関係団体で構成しているイベント「バリフリBOX」が、昨年度から地域に根付いて、当事者と専門職で構成される、発見と学びのバリエーションをスタートさせました。それが「出前バリフリBOX」です。

今回は、上八万の子どもたちと大人たちが一緒に、ハザードマップを活用し、車椅子を介して実際にまち歩きします。みなさんの協力から上八万の防災、地域のリーダーシップづくりを目指し、参加者を育むための地域の防災力を高める第一歩にします！

主催：福島県視覚障害者支援センター、福島県障害者支援センター、福島県障害者支援センター、福島県障害者支援センター

探検隊のメンバーになって、フィールドワークに参加しよう

フィールドワークって何をするの？
今年の夏、上八万つながる防災プロジェクトで作成した、水害と土砂災害ハザードマップを元に、地域を歩いて災害時の想定した移動や危険箇所、防災備置などを見つたり、地域の方と出会い、お話を聞いたりします。

1 チームに分かれて探検コースへ出発！
探検コースは、ふたつです。
①水害注意！の下中筋・川北方面
②土砂災害注意！の中山方面
探検しながら、つながる防災で学んだ車椅子操作法にもチャレンジします。

2 作業療法士が作ったミッションカードをもとに、チェックポイントへ！
ミッションカードには、全隊員がクリアしなければならないミッションや、チェックポイントが記されています。チームで協力し、ゴール地点の児童館まで無事帰還しましょう！

3 感じたことや気付いたことを話してみよう
最後は上八万児童館に戻り、まち探検で気付いたことや感じたことを話合ったり、「みんなの上八万探検マップ」に書き添えて、みんなが共有します。

出前バリフリBOXってなあに？
障がいのある方たちとに交流し、ともに生きる社会を目指し、福島県視覚障害者支援センターと多くの関係団体で構成しているイベント「バリフリBOX」が、昨年度から地域に根付いて、当事者と専門職で構成される、発見と学びのバリエーションをスタートさせました。それが「出前バリフリBOX」です。

今回は、上八万の子どもたちと大人たちが一緒に、ハザードマップを活用し、車椅子を介して実際にまち歩きします。みなさんの協力から上八万の防災、地域のリーダーシップづくりを目指し、参加者を育むための地域の防災力を高める第一歩にします！

昨年活動の様子

このあたりは、大雨降ったら水に浸かって、流れようになるよ

この交差点付近は、よき水が出るけん気をつけよ

もしも、ため池の水があふれたら、堤内の方に流れていくけん

このあたりは、大雨降ったら水に浸かって、流れようになるよ

この交差点付近は、よき水が出るけん気をつけよ

もしも、ため池の水があふれたら、堤内の方に流れていくけん

このあたりは、大雨降ったら水に浸かって、流れようになるよ

この交差点付近は、よき水が出るけん気をつけよ

もしも、ため池の水があふれたら、堤内の方に流れていくけん





バリフリBOXからバリフリBOX∞へ 「こんなことしたい！」から仲間を増やす

実行委員会参画団体

徳島県肢体不自由児者父母の会連合会
徳島赤十字ひのめね医療療育センター
徳島文理大学

(公社) 徳島県建築士会

(一社) 徳島県歯科医師会

(一社) 徳島県歯科衛生士会

(社福) 徳島県社会福祉事業団

徳島県特別支援学校長会

(公社) 徳島県理学療法士会

(一社) 徳島県作業療法士会

徳島県言語聴覚士会

(一社) 徳島県医師会

(公社) 徳島県看護協会

徳島弁護士会

四国大学



様々な技能を持った
個人のコアメンバー

当事者団体や専門機関などの
協力団体

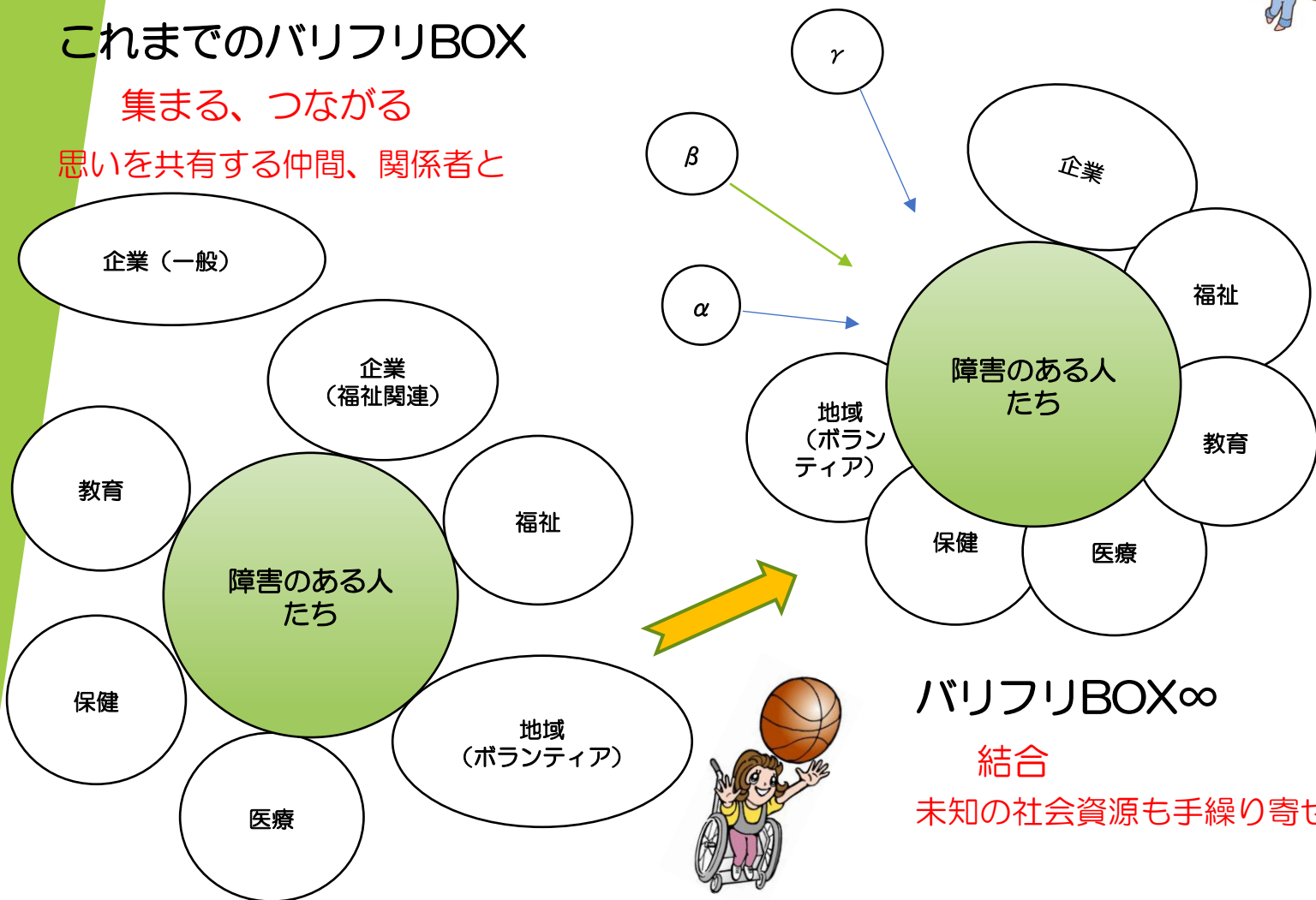


インクルーシブ社会につながるバリフリBOXに



これまでのバリフリBOX

集まる、つながる
思いを共有する仲間、関係者と



今後のバリフリBOX

融合
みんなの力で新しい
インクルーシブ社会を目指す

バリフリBOX ∞

結合
未知の社会資源も手繰り寄せる



2025年度は、バリフリBOX10周年！！

障がいも年齢も、立場も関係なく更に人が繋がり、
ワクワクすることを一緒につくっていきたい！
新しい発想で、障がい、福祉の認識を変える！

バリフリBOX[∞]がそのきっかけ広場になるように

12/13（土）10：00～18：00
イオンモール徳島で開催！

「ともに生きる」
をテーマに
新たな挑戦！

だれもが安心して生活できる空間のデザイン ～当事者参画を学ぶ～ in松山

主催 未来型UD戦略特別研究委員会
報告者 CIL星空

日時：2024年11月16日(土)

場所：松山市男女共同参画推進センター「コムズ」

※オンラインのハイブリッド同時開催

概要：生活に密着した空間、障害者の住まいづくりの取組みに関するセミナー

集客数：会場・オンライン合わせて70名以上



講演者と講演タイトル

講演者	講演タイトル
高橋 儀平 氏 未来型UD戦略特別研究委員会 委員長	当事者参画の手法と住空間改善の留意点
後藤 秀和 氏 NPO法人自立支援センターおおいた	障害者向け共同住宅について
近藤 洋俊 氏 株式会社クリエイド	当事者が住みやすい居住空間について
太田 琢磨 氏 愛媛大学アクセスビリティ推進室	教育に必要な空間とは ～愛媛大学を例に～
湯谷 大朗 氏 国交省住宅局安心居住 推進課課長補佐	「障害者の居住にも対応した住宅の設計ハンドブック」について

ユニバーサルデザイン見学会

日時：2024年11月17日(日)

参加者：13名(実行委員含む)

《道後温泉本館周辺》

- ・景観の良さを最重視するための石畳が車いすユーザーにとっては振動が強く出ることによって体幹保持が難しいということを知ってもらうきっかけとなった。



《松山城》

- ・10年前までは、車いすユーザーが訪れるということをしていかなかったため、遊歩道も舗装されていなかった。
- ・車いすユーザーとボランティアを含む約100人が松山城へ上ることを実施。その後、遊歩道が整備され、以前よりは上りやすくなったことを実感してもらった。





新時代へ躍り出そう

Sustainable ^{AI} 藍 Land
TOKUSHIMA

R7.8.8

第7回移動等円滑化評価会議四国分科会

徳島県における「とくしまユニバーサルデザイン県民会議」の 取組について

徳島県生活環境部多文化共生・人権課

1 とくしまユニバーサルデザイン県民会議 概要

○目的

「とくしまユニバーサルデザイン基本指針」(平成17年3月策定)を踏まえ、「地域に暮らすみんなが住みやすいまち徳島」を実現するため、県民、NPO、関係団体、事業者、行政等の各主体が緊密に連携・協働し、それぞれの役割に応じて、積極的かつ主体的にユニバーサルデザインの推進に向けた取り組みを実践する。

○設立

平成17年8月26日

○会長

末田 統（徳島大学名誉教授）

○構成員

- ・徳島県内のNPO・関係団体、事業者及び地方公共団体等
- ・ユニバーサルデザインに関する学識経験者
- ・ユニバーサルデザインに関心がある個人 など

2 とくしまユニバーサルデザイン県民会議について

令和5年度（令和6年3月26日実施） 対面＋オンライン

- 「R5年度観光ユニバーサル大賞」を受賞した(一社)イーストとくしま観光推進機構による、外国人観光客が訪れている徳島県神山町山犬嶽周辺における英語標識整備活動についての事例発表
- 「R5年度とくしまユニバーサルデザインによるまちづくり賞」を受賞した(社福)徳島県社会福祉事業団 ふらっとKOKUFUによる、子供の居場所づくり推進事業等の事例発表
- 特定非営利活動法人阿波グローバルネットによる避難所の見学会の取り組み等についての講演

2 とくしまユニバーサルデザイン県民会議について

令和6年度（令和7年3月25日実施） 対面＋オンライン

○パラリンピック 柔道金メダリスト 藤本 総 氏による講演

○(公社)徳島県建築士会からの
「徳島県の観光バリアフリーへの
取り組み」についての提案

○メーリングリスト作成および
活用についての提案



2 とくしまユニバーサルデザイン県民会議について

県民会議から派生したワーキンググループの活動

①ユニバーサルツーリズムの推進に関する会議

主体 : 公益社団法人 徳島県建築士会

会議日 : 第1回目 令和7年4月28日(月)

参加者 : 徳島県建築士会・バリアフリーデザイン研究会メンバー
県庁内関係課

内容 : 建築士会の取り組み内容の紹介と出席者間の意見交換

会議日 : 第2回目 令和7年7月17日(木)

参加者 : 徳島県建築士会・バリアフリーデザイン研究会メンバー
四国運輸局、医療・福祉関係団体、国際交流団体、県庁内関係課 ほか

内容 : 事例報告、参加者によるワークショップ など

2 とくしまユニバーサルデザイン県民会議について

県民会議から派生したワーキンググループの活動

②ユニバーサルデザイン防災の推進に関する会議

主体 : とくしまユニバーサルデザイン県民会議 末田 統 会長

会議日 : 第1回目 令和7年5月30日(金)

参加者 : 四国運輸局、徳島市、医療・福祉関係団体、国際交流団体、
マスメディア、県庁内関係課 ほか

内容 : 要支援者の避難訓練の実施について
個別避難計画の課題について など

会議日 : 第2回目 令和7年8月1日(金)

参加者 : 四国運輸局、徳島市、医療・福祉関係団体、国際交流団体、
マスメディア、県庁内関係課 ほか

3 とくしまユニバーサルデザインによるまちづくり賞・観光ユニバーサル大賞

○目的

障がい者、高齢者、子どもなどすべての人が暮らしやすい社会を実現するため、ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関して顕著な功績又は功労のあった個人又は団体を表彰し、ユニバーサルデザインに優れた取り組みを広く普及させる

○表彰対象

(1) とくしまユニバーサルデザインによるまちづくり賞

ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関して、施設の整備、製品の開発・製造、推進・普及のための活動等において特に顕著な功績又は功労のあった個人又は団体

(2) 観光ユニバーサル大賞

ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関して、外国人を含む県外からの観光客に対して、施設の整備、製品・サービスの企画・開発、推進・普及のための活動等において特に顕著な功績又は功労のあった個人又は団体

○表彰者

知事

3 とくしまユニバーサルデザインによるまちづくり賞・観光ユニバーサル大賞

令和4年度 観光ユニバーサル大賞受賞 「（一社）旅の栞」

【旅の栞 活動内容】

- 介助が必要な方に向けた観光サポートと宿の提供
- インクルーシブカフェ tabi-no-otomo 運営
- 車いすの方を対象とした着物や浴衣の着付け体験や、多数の方が参加する障がいに関する講演会などを実施

インクルーシブカフェ
tabi-no-otomo ▶



ご静聴ありがとうございました



新時代へ
躍り出そう

AI
Sustainable 藍 Land
TOKUSHIMA

事業者団体等取組報告

団体名（会社名） 香川県

役職名 県立アリーナ管理運営室 室長補佐

➤ UD・バリアフリーに関する取組事例・計画

1 あなぶきアリーナ香川（香川県立アリーナ）の整備

香川県立アリーナにつきましては、平成 26 年の旧県立体育館の閉館後、整備に向けた検討を開始しました。平成 29 年に基本計画、令和 3 年に実施設計と検討を進め、令和 4 年に着工しました。その後、約 32 か月間の建設工事期間を経て令和 6 年 11 月 29 日に竣工、令和 7 年 2 月 24 日に開館を迎えたところです。

2 UD・バリアフリーに関する取組について

（1）基本的な事項

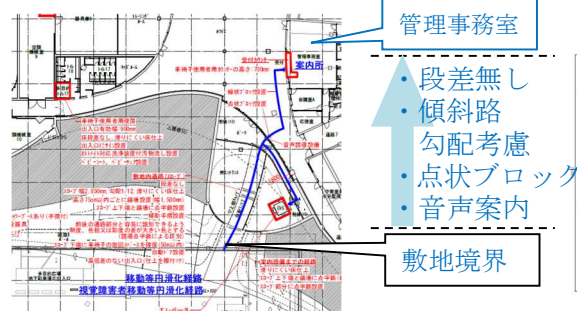
- ①施設全般 香川県福祉のまちづくり条例の適合施設。通路幅は 3m を確保し、車いす同士のスムーズな通行が可能。館内エレベーターは車いすが 2 台同時に乗降可能な広さを確保。

（なお、メインアリーナ観客席には車いす席 28 席を整備）

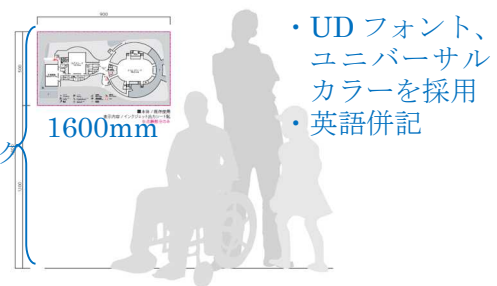
- ②動線 イベントごとに座席位置、座席数、座席番号等が変動する施設特性を踏まえ、管理者等が常時勤務する案内所等（管理事務室）までの動線を（視覚障害者等）移動円滑化経路として設計。

- ③サイン 車椅子利用者や子どもからの見上げ視線を考慮し、原則、館内のサインの設置高さ（上限）を地上高 1600mm に設定。

< 動線 >



< 案内サイン >



＜メインアリーナ内の車いす席＞ 7 席×4 箇所＝28 席



2 設備、備品等

- 館内に、男女各トイレ以外にバリアフリートイレを 12 箇所を設置。男女トイレ内には、おむつ替え台とベビーカーが入れる広めの個室を用意しており、バリアフリートイレの機能分散を図っています。

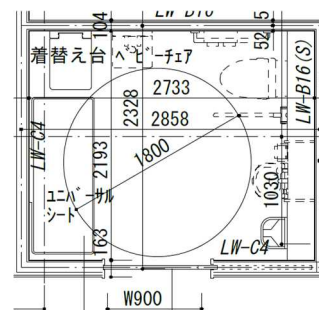


- ・ 広めの個室
(ベビーチェア、着替え台あり、ベビーカー入室可)
- ・ おむつ替え台

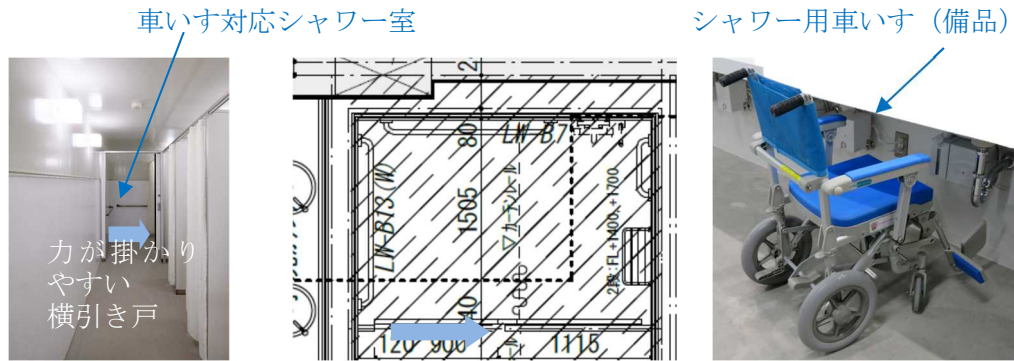
- バリアフリートイレのうち、3 箇所には介助用ベッド（ユニバーサルシート）を設けています。



- ・ 介助用ベッド
(ユニバーサルシート)



- シャワールーム（全8室）には、車椅子対応用のシャワー室を設けており、シャワー用の車椅子（乗換用）を備えています。



- 難聴の方の聞こえをサポートする機器（可搬型のヒアリンググループ）を貸出用の備品として備えています。

3 開館後の状況について

- 中四国最大規模となる最大収容人数1万人が特徴の施設で、これまで四国で開催が難しかった大規模なコンサートやスポーツイベントなどで御利用をいただいております、2月の開館から5月末までに、約30万人の方にお越しいただきました。
- 障害をお持ちの方も、コンサートやスポーツ体験イベント等に来場されており、イベントをお楽しみいただいている様子を確認しているものです。
- 今後も、利用者の方からの様々な意見を通じた課題につきまして、いただいたご意見も参考にしながら、利用者の立場に立った運用ができるよう、具体的な対応の検討を進めて参ります。

事業者団体等取組報告

会社名 四国旅客鉄道株式会社

役職名 お客様サービス推進室 副室長

氏 名 神野 泰弘

○バリアフリーに関する取組事例

当社のバリアフリーに関するハード整備は、公共交通移動等円滑化基準に基づき整備を行っています。これまでに様々な整備を実施していますが、最近（過去3年程度）実施した主な取組事例は次のとおりです。

◎ 駅設備

【内方線付点字ブロックの整備】

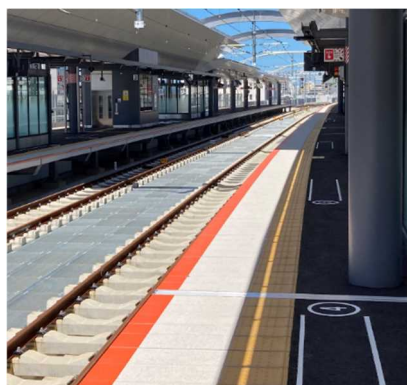
《2023 年度》端岡駅

《2024 年度》松山駅、屋島駅、穴吹駅

《2025 年度》伊野駅（予定）

【CPライン整備】

《2024 年度》松山駅



（CPライン・内方線付き
点字ブロック整備例：松山駅）

【運行情報等表示端末（デジタルサイネージ）設置】

お身体の不自由なお客様や訪日外国人のお客様など、多くの方に運行情報をよりわかりやすくお伝えするため、無人駅等を中心に多言語と音声出力に対応した運行情報等表示端末を新たに設置しました。

《2022 年度 設置駅（56 駅）》

予讃線：讃岐府中駅～伊予立川駅・卯之町駅

土讃線：金蔵寺駅～讃岐財田駅

《2023 年度 設置駅（46 駅）》

土讃線：箸蔵駅～窪川駅

徳島線：穴吹駅～辻駅

予土線：伊予宮野下駅・近永駅

《2024 年度 設置駅（11 駅）》

予讃線：内子駅・新谷駅・西大洲駅・伊予平野駅・双岩駅～北宇和島駅（※）

※卯之町駅・高光駅は除く



（設置例：北宇和島駅）



（表示例：通常運行時）



（表示例：列車遅延時）

◎ 列車設備

【車椅子スペース等を装備した新型車両】

《2019 年度～2020 年度》 2700 系 14 編成

【改造時に車椅子スペースを装備した車両】

《2016 年度～2019 年度》 7200 系 19 編成

《2024 年度》 8000 系 1 編成

《2025 年度》 8000 系 1 編成（予定）（8000 系車両車椅子スペース）



【聴覚障害者用ドア開閉動作開始ランプ】

聴覚障害等のお客様が車内外から戸の開閉のタイミングを確認できるよう、車内ランプ又は車外ランプの点滅等により戸の開閉のタイミングを表示します。

《2023 年度》 8000 系 3 両、1200 型 1 両導入

《2024 年度》 8000 系 8 両、1200 型 4 両導入

《2025 年度》 8000 系 8 両、1200 型 4 両導入（予定）



（イメージ（7200 系電車より））

◎ 乗務員介助

現在、車いすをご利用のお客様が駅係員不在の駅をご利用される際は、お客様からのご連絡により、その駅を管理している駅から駅係員を手配し、列車乗降のお手伝いをさせていただいております。

2022 年 12 月より、試行的に鳴門線において、車いすご利用のお客様からご連絡がない場合においても、スムーズに列車をご利用いただくことができるよう、乗務員（運転士及び車掌）が列車乗降のお手伝いを実施しています。



◎ その他

ソフト対策につきましては、サービス介助士の資格取得をすすめており、2025 年 3 月末時点で駅や乗務員区所に約 311 名の社員がサービス介助士として在籍しています。

また、障害のあるお客様対応についてまとめたマニュアル整備、対応方を具体的に学ぶ研修を実施しています。

その他、お身体の不自由なお客様や高齢のお客様をはじめ、ご利用されるお客様が安全に安心してご利用いただけるよう「声かけ・サポート」運動を実施しています。お身体の不自由なお客様やお困りのお客様等を見かけた場合は、常日頃から社員による積極的な声かけやお手伝いはもちろん、放送や同運動のポスターを掲出するなどにより、周囲のお客様にもご協力いただき、社会全体で見守り支えあうことを目的に取り組んでいます。



（声かけ・サポート運動ポスター）

新松山駅のバリアフリー設備 一例



(改札室：ローカウンター)



(待合室)



(バリアフリートイレ：オストメイト)



(バリアフリートイレ：介助ベッド)



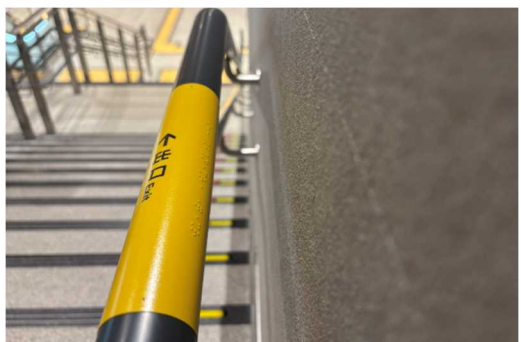
(運行情報表示端末)



(列車非常停止ボタン)



(触知案内盤)



(階段手すり点字案内)



(踏面端部表示)

2024(令和6)年度
高松空港ユニバーサルデザイン診断
ご指摘事項 改善内容報告書

高松空港株式会社
建物管理グループ

2024(令和6)年10月 高松空港ユニバーサルデザイン診断を実施

高松空港では、2025年よりターミナルビル西側増改修工事を実施しており、それに先立ち、既設建物についてもユニバーサルデザインの観点から見直す必要があると考えました。

誰もが安心して利用できる空港づくりを目指し、既存施設の課題を把握し、改善点を今後の増改修計画に反映させることを目的として、2024年10月24日（木）、中央大学ユニバーサルデザインプロジェクトチームによるユニバーサル診断を実施しました。

診断日：2024年10月24日（木）
診断者：中央大学UDプロジェクトチーム

【中央大学UDプロジェクトチーム】

- ・中央大学研究開発機構
- ・中央大学研究開発機構
- ・公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

機構教授 秋山 哲男
機構准教授 丹羽 菜生

バリアフリー推進部 企画調査課 参事 竹島 恵子

- ・八千代エンジニアリング株式会社
- ・一般社団法人全国空港事業者協会
- ・一般社団法人全国空港事業者協会

事業統括本部 国内事業部 社会計画部 部長 別府 知哉
常務理事 日巻 博文
事務局 主任 助川 尚史

【当事者】

- ・香川県身体障害者団体連合会
- ・香川県視覚障害者福祉協会
- ・香川県視覚障害者福祉協会

会長 岡村 隆次
会長 浅見 裕一郎
介助者



盲導鈴（誘導鈴）の設置

改善前

点字ブロックの誘導先が出入口なのかインフォメーションなのか判別しづらい状況。
視覚障がい者の方が迷わず正面出入口へ到達できるようにするため、明確な識別手段が必要。
（ユニバーサル診断時は盲動鈴等は設置されていない。）

場 所

ターミナルビル 1 階



改善後



対 応 内 容

インフォメーションの西側に盲導鈴を設置。
車いす利用者向けの低いカウンターが西側に設置されているため、バリアフリーの観点からインフォメーション西側を選定。香川県視覚障害者福祉協会 会長の浅見様 立会のもと設置場所・製品・音量については確認を行っている。

改善日：2025年1月23日

設置費：140,000円(税別)

盲動鈴の設置に関する掲示を行い、盲動鈴を知らない方にもその役割等を理解していただけるよう周知しています。

「誘導鈴」設置について

高松空港では、誰もが安心して使える空港を目指し、空港ターミナルビル入口に「誘導鈴」を設置いたしました。



「ピン・ホーン」の音の意味は？



騒がしい場所でも比較的よく聞こえるこの音は「誘導鈴」と呼ばれる、視覚障害者を安全に建物の入口等に誘導するための音声誘導装置です。



TAKAMATSU AIRPORT



TAKAMATSU AIRPORT

点字ブロックの適正化

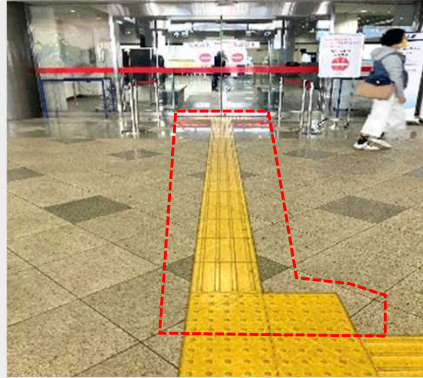
改善前

インフォメーションからターミナルビル内目的地への誘導はインフォメーションスタッフが誘導を行い、到着バゲージクレームエリアからインフォメーションへの誘導は各エアラインスタッフが行う事が前提となっている。

その為、到着バゲージクレームエリアからインフォメーションまでは点字ブロックが不必要のため、撤去が必要。

場所

ターミナルビル1階
(国内線・国際線到着)



改善後



国内線到着バゲージクレームエリア前



国際線到着バゲージクレームエリア前

対応内容

国内線・国際線 到着出口自動ドア前の95枚の点字ブロックの撤去及び3枚の追加敷設を行う

改善日：2025年1月30日

設置費：88,500円(税別)

衝突防止シールの設置

改善前

大型ガラス壁面部分に衝突防止のためのシールや帯シール、フィルムなどが貼られていない状況となっている。

現状では視覚障がい者の方や注意が不十分な歩行者がガラス面に気づかず衝突する危険性がある。

場所

ターミナルビル2階
(国際線搭乗待合室)



改善後



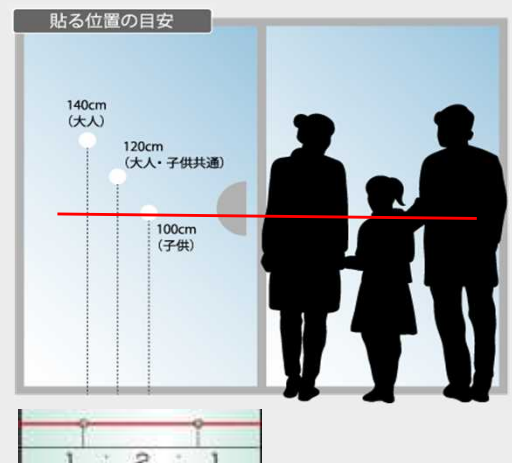
対応内容

子供の目線の高さを考慮し、ガラス壁面の高さ100cmの位置に衝突防止シールを敷設。

16面×4面(両面) = 64枚敷設

改善日：2024年12月19日

設置費：23,000円(税別)



外構の石継ぎ目の補修作業

改善前

歩道部分の石目地に複数の隙間が見受けられ、視覚障がい者の方を含む歩行者にとって危険な箇所となっている。
視覚障がい者の方が使用する白杖や車いす、ベビーカーなどが目地の隙間に引っかかることで、移動の妨げやバランスを崩して転倒する恐れがある。

場 所

ターミナルビル外部 歩道部分



改善後



対 応 内 容

目地の隙間をモルタルで埋め、路面を滑らかにする。
凹凸の軽減を行う
改善日：2024年12月25日
設置費：80,000円(税別)



フラッシュライトの設置

改善前

トイレの一部箇所および授乳室にフラッシュライトが設置されていない。
聴覚障がいのある方は光による明確なサインがないと、非常時に適切な避難行動をとることが困難になる可能性がある。
また、授乳室は個室として区切られており、外部の音が聞こえにくいため、音だけの警報では避難の遅れにつながる恐れがある。

- ◆授乳室：フラッシュライトの設置なし
- ◆トイレ：一部設置なし

場所

ターミナルビル各所トイレ・授乳室



改善後



対応内容

火災報知器鳴動時等に個室空間での聴覚障害者の利用者に対し、フラッシュライトを設置（各所トイレ・授乳室等：5か所に点滅灯設置：9台の設置）

改善日：2025年1月22日

設置費：720,000円(税別)



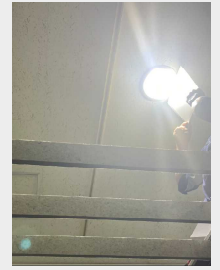
カームダウンスペースの輝度調整

改善前

カームダウン・クールダウンスペースを利用時にBOX内から天井を見上げると照明が明るすぎ、リラックスを目的としたスペースに於いて、相応しくない輝度となっている。

場所

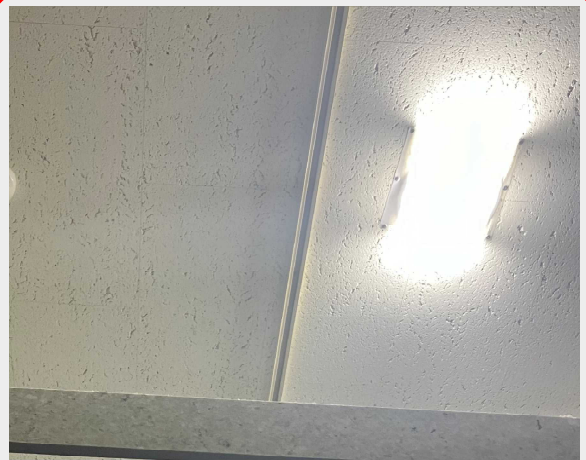
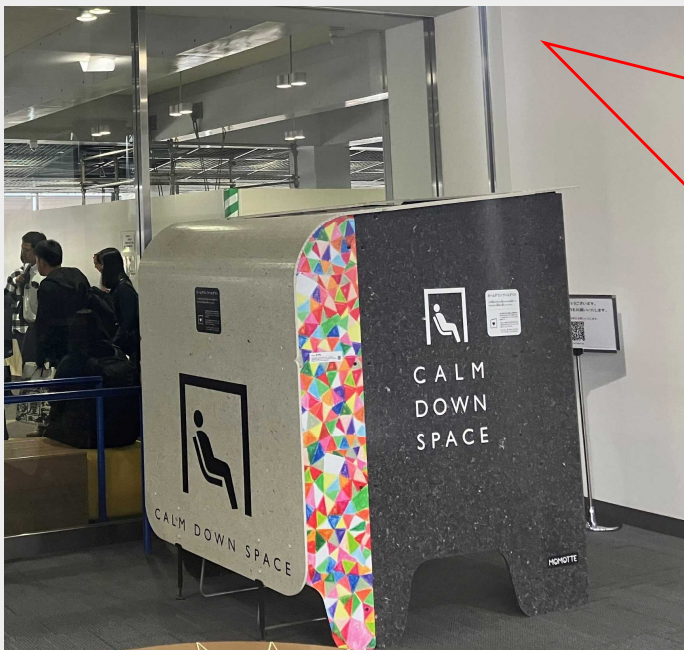
ターミナルビル2階
カームダウンスペース



BOX内より
天井部を見る



改善後



BOX内より天井部を見る

対応内容

カームダウンの天井をふさぐ事も出来るが、現段階では天井照明部へシェードの取付でまぶしさの改善を行う。

対応改善日：2024年10月25日



バリアフリースイレ建具の調整

改善前

バリアフリースイレの常閉式扉の閉鎖時のスピードが早く、車椅子利用者や高齢者、身体に不自由がある方が通過中に扉が閉まる危険性があり。

場所

ターミナルビル2階
国内線搭乗待合室 バリアフリースイレ



改善後



対応内容

該当の扉に関しては 壁収納二連引込特定防火設備の為、扉を開放したままにすることが出来ない、閉鎖時のスピードに関しては建具調整にてスピードの調整を行う。
対応改善日：2024年11月11日



床デザインでの旅客誘導

改善前

国際線西側からの保安検査場へ向かう動線がわかりにくい。

場所

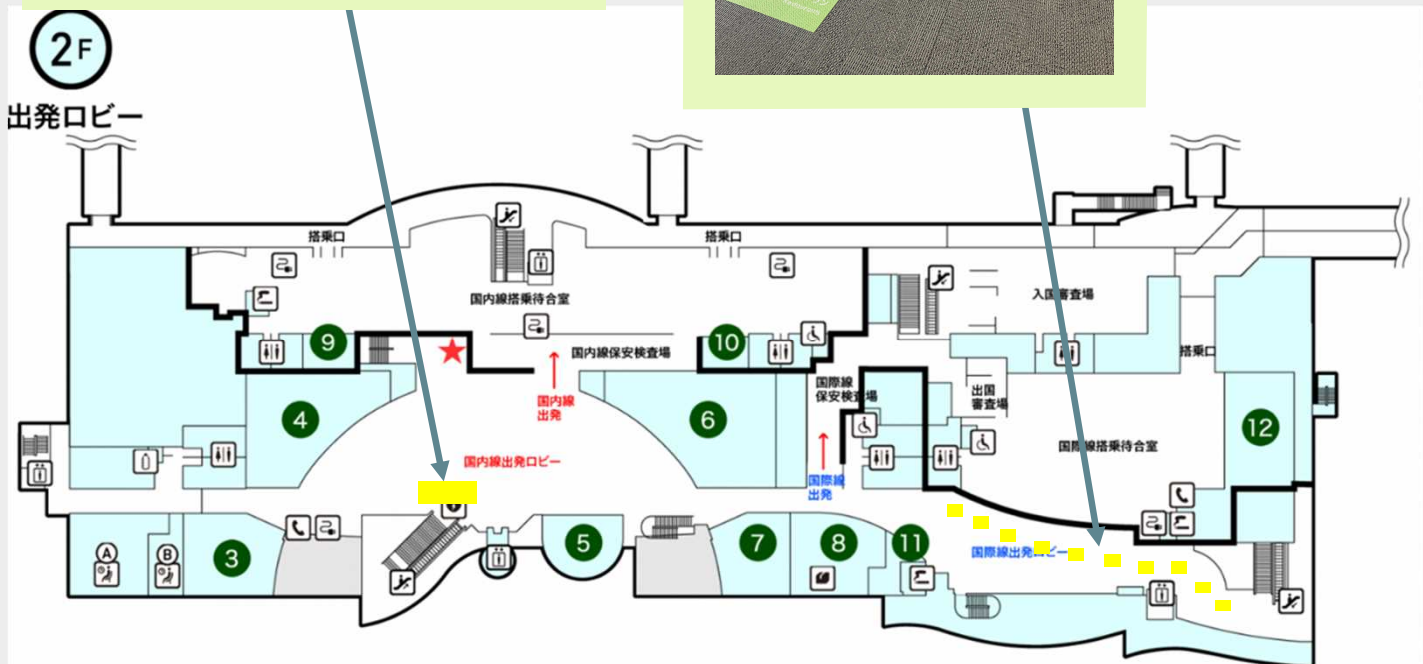
ターミナルビル2階 国際線西側



改善後

床面タイルカーペットに誘導サインを設置。歩行中に自然と目線が行き、サインが目に入りやすい位置の為、視認性が高くなっている。床面の矢印やサインピクト、色分けされた箇所は、直感的に目的地を理解する事ができ、車いす利用者や聴覚障害者、外国人旅行者など一目でわかりやすいサインとなっています。

設置費：375,248円(税別)



事業者団体等取組報告

団体名（会社名） NPO法人福祉住環境ネットワークこうち
役職名 理事長
氏 名 笹岡和泉

➤ UD・バリアフリーに関する取組事例・計画

・障害者、高齢者、赤ちゃん連れの方が出掛けの際の課題はトイレです。そのため、県と一緒に調査し、高知市中心商店街車いす対応トイレマップを県のサイトに公開しました。海外観光客のために英語表記と、トイレ画像も掲載しています。

<https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2024121900047/>

・観光・宿泊施設、交通機関で職員研修やバリアフリー改善のためのアドバイスを必要としている施設に利用して頂こうと県事業として、NPO ふくねこが企画運営する「アドバイザー派遣」を実施しています。

【募集中】バリアフリー観光推進のためアドバイザーを派遣します

<https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2024092000135/>

最近は防災への関心が高く、災害時要配慮者への対応についての相談も増えています。